

第 19 回（令和元年度）ざまひまわり写真コンテスト全体講評

今年のひまわりまつりは、8月10日から14日まで、座間地区の会場で行われ、この期間の作品を中心に作品を募集し、第19回ひまわり写真コンテストを開催いたしました。

大勢の方にご応募をいただき、今年もここに展示会を迎える運びとなりました。応募者182名、応募点数421点の中から厳正な審査の結果、入賞者9名と入選者10名が決定いたしました。

応募くださった方の年齢ですが、70代の方からそして、最年少の方は9歳までですが、なんとこの9歳の女子が、見事に今回の最優秀賞の座間市長賞を獲得されました。作品の内容は、新聞紙に包まれたひまわりが木製のベンチに置かれていて、そこには懐かしいフィルムカメラが何気なく映り込んでいるというものです。この作品の風潮はこれまでとは異なり新鮮な刺激を感じました。少女の純粋な感性がここに集約された結果と受け止めております。

この他にも新しい表現の作品が何点か見受けられ、大変喜ばしく感じているところです。さらには、人物を取り込んだ作品が多く見られましたが、多くは人物が大きすぎず、ひまわり畑の中に点景として溶け込んでいて、観光写真として適切な仕上げになっているところに撮影者の設定の確かさを感じました。

なお、入選作品には個々に寸評を付しておきましたのでどうぞご参照ください。それでは、また次回も皆様方とお会いできることを祈念いたしまして、今回の全体講評とさせていただきます。

令和元年 10 月吉日

写真家 高橋ぎいち